

## 平成 19 年度 第六回役員会 議事録

記録 A グループ 國分

日 時 : 2007 年 9 月 28 日 (金) 17:00 ~ 20:00

場 所 : 東地区文化センター

出席者 : (敬称略)

会 員					公民館・地区文化センター		
A グループ	B グループ	C グループ	D グループ	H・P 部 会	公民館	北地区 文化センター	東地区 文化センター
國分	久保田	押田	松尾	木下	山崎	井上	野口

(配付資料) 市主催講座一覧表 (H16.5 ~ H19.10)

☐ 平成 20 年度活動計画について

公民館側から提示のあった“平成 20 年度公民館主催パソコン講座予定表(案)”を、今年度の講座と時間数で比較して下表に示す。

	ほんとうにはじめての パソコン講座			ワードによる講座 例. 暑中見舞い状, 年賀状			エクセル入門講座		
	各講座 時間数	全 講座数	全 時間数	各講座 時間数	全 講座数	全 時間数	各講座 時間数	全 講座数	全 時間数
平成 19 年度	12	12	144						
平成 20 年度	12 15	2 1	24 15	12	3	36	18	3	54
計		3	39		3	36		3	54

平成 19 年度市主催講座全時間数 ----- 144 時間

平成 20 年度市主催講座全時間数(案) ----- + + = 39 + 36 + 54 = 129 時間

公民館側説明のポイント

市としての「IT 講座を継続せよ」という方針があるので、受講生の需要状況(倍率低下傾向)とクラブ側の要望を踏まえて、これまでの初心者対象に限定せずランクを上げた講座と併せて三本柱の講座案を提示した。

(1) 「ほんとうにはじめてのパソコン講座」 ----- 3 講座 (全 39 時間)

今年度は初心者限定講座として 12 講座設定しているが、来年度は三分の一の 3 講座に減らした。また 1 講座だけは 3 時間多くしてあるので、内容を少々膨らませて考えて欲しい。

- ( 2 ) ワードでつくる暑中見舞い( 年賀状 ) ----- 3 講座 ( 全 3 6 時間 )  
ワードにある “ はがき宛名 ( 文面 ) ウィザード ” を使って、宛名および挨拶文や  
画像を挿入した文面を作成する。なおデジカメによる画像は考えていない。
- ( 3 ) エクセル入門講座 ----- 3 講座 ( 全 5 4 時間 )  
講座内容は「家計簿」,「収支決算書」等を念頭に置いている、表作成の便利さと  
計算ができること, グラフとして表現できるなどを考えて欲しい。

上表の ( 2 ), ( 3 ) の受講対象者は文字入力ができることが前提となる。受益者負担  
については原則として 1 講座 ¥ 1 000 を考えているが、案に示したように 1 講座の  
時間数がまちまちである場合、平等性からすると問題があり今のところ流動的である。

#### ZPSC 側としての対応

公民館側の講座案を一旦各グループに持ち帰って検討し、次回役員会でまとめることと  
する。

### ☐ 「平成 2 0 年度活動計画の要望」に対する公民館側の回答

#### 要 望

- ( 1 ) 各グループの活動を昨年度までの拠点活動に戻すことを要望。
- ( 2 ) VISTA 機の台数として各公民館 18 台を要望。

#### ( 1 ) について回答

以前 ( 9 8 機を使っていた当時 ) に戻すとまではいかないが、要望に沿うように  
今回の案は提示してある。

ただし、各館には月によって行事があるのでそれは避けている。

- ◆ 5 月 ・ 公民館 行事あり
- ◆ 8 月 ・ 3 館ともに行事あり
- ◆ 10 月 ・ 東地区と北地区に行事あり

#### ( 2 ) について回答

歳入が減少してきている市の現状では、財政的な面で無理である。

#### 要 望

- ( 3 ) 新会員に対してインストラクターとしての養成講座を要望。
- ( 4 ) 各グループは市主催講座を 3 回 ( 全て入門講座 ) 受けもっているが、1 回だけでも  
ランク上げた講座を要望。
- ( 5 ) 市主催講座の応募者数・倍率等のデータの開示を要望。
- ( 6 ) 夜間 2 時間 ( 1 8 : 3 0 ~ 2 0 : 3 0 ) を 3 回 ~ 4 回で、特化した講座を要望。
- ( 7 ) VISTA 機を、機器使用料を徴収しないで相談会に使えることを要望。

#### ( 3 ) について回答

クラブ側で対応して欲しい、外部講師を招聘する場合は市とクラブ側で折半と  
いうことも選択肢の一つと考える。

( 4 ) について回答

今回の講座案提示で十分に要望に応えている。

( 5 ) について回答

今回の会議資料として開示してある。

( 6 ) について回答

2 時間 × ( 3 ~ 4 ) = 6 ~ 8 時間、この時間数で何ができるのか疑問である。

市としては、講座をグループに委託してあるのではなくクラブ側に委託しているので、一つのグループが講座を消化しきれないならば、クラブ側としてお互いにサポートしあってほしい。

なお、夜間しか受講できない市民もいるので、平等性の観点から夜の講座はこれまでもどおり継続していく。

( 7 ) について回答

VISTA 機は来年度も 18 台をまとめて移動し講座を運営するので、月によって使える館と使えない館がでてくる、したがって今年度と同じく相談会には使用できない。

## ☐ その他

( 1 ) 意見交換

〔 ZPSC 〕

講座は市主催であり、それをクラブ側でボランティアとして活動しているのであるから、もう少し市側で講座の環境や新人の養成等支援してもらっても良いのではないかと。

《 公民館 》

当時は国の政策として IT 関連事業を進めており、市としてもインストラクター講座を実施した。その結果としてサークルができ、自立して歩けるようになってきたので、市とサークル間で講座の委託契約を結んだ形をとった。この時点から、市は少しずつ手を引きながらサークルの一人歩きを推進している。これが一般的な社会教育の考え方である。理解していただきたい、今後も相談にのるなどの協力は続けていきたい。

〔 ZPSC 〕

サークルとして立ち上げていただいたことは感謝しているが、もう少し活動計画等において自主性をもたせて欲しい。

《 公民館 》

市とサークルの間で契約によって公金が動いている、これは市からみると有償ボランティアの分類として扱われているので、理解をしていただきたい。

( 2 ) 北地区の空調工事関係から VISTA 機はしばらく公民館にあるので、VISTA 機の勉強会は公民館でやることはできる。この場合部屋の利用状況が絡んでくるのであらかじめ連絡をとってからにする。

以 上